二〇一三年一二月一三日

一舟を舫ひ水郷冬ざるる　宏虎

碧天へメタセコイアの枯つくす　満天

林間に紅一点の冬紅葉　せいじ

二〇一三年一二月一二日

ラジコンのヘリの飛び交ふ枯野かな　うつぎ

対岸の人にもの言ふ息白し　よし子

冬ざれの寺苑の隅に十字墓　菜々

飛火野に鹿寄せホルン響きけり　ひかり

二〇一三年一二月一一日

鴨あそぶ湖へ開きし浮御堂　雅流

二〇一三年一二月一〇日

コンビナートとは言いがたき大枯野　うつぎ

山家より煙一筋夕紅葉　なつき

二〇一三年一二月九日

山門を額に紅葉の東山　よし子

賜りし洗濯日和冬日燦　こすもす

頬被りして冬菜売る媼かな　満天

海風に紅葉且つ散る船着き場　なつき

年忘れ上座下座のなき集ひ　うつぎ

二〇一三年一二月八日

新暦世界遺産の逆さ富士　あさこ

海の風水仙郷を吹き上げ来　ともえ

差し向かひ本音の洩るる炬燵かな　宏虎

二〇一三年一二月七日

冬日燦横川詣でのバス窓に　雅流

銀杏散り白亜の校舎の現れにけり　満天

毎日句会みのる選・二〇一三年一二月一五日